

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年2月14日

上場会社名 チエル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3933 URL https://www.chieru.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役会長 (氏名) 川居 睦
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 若松 洋雄 (TEL) 03-6712-9721
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	3,130	12.3	447	71.6	503	99.9	372	128.3
2021年3月期第3四半期	2,787	28.4	260	—	251	630.6	163	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 372百万円(128.3%) 2021年3月期第3四半期 163百万円(99.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	48.69	48.47
2021年3月期第3四半期	21.14	21.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	6,525	2,114	32.0
2021年3月期	5,585	2,003	35.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 2,085百万円 2021年3月期 1,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	2.9	572	11.5	572	16.6	396	9.8	51.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 0社(社名) 、除外 0社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	7,869,000株	2021年3月期	7,869,000株
2022年3月期3Q	290,968株	2021年3月期	90,926株
2022年3月期3Q	7,659,626株	2021年3月期3Q	7,727,954株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。

学校教育を取り巻く環境としては、2020年度より実施が始まった新たな「学習指導要領」に基づき、ICT環境の整備が進行しております。特に小学校・中学校では政府の「GIGAスクール構想」によって、児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークの一体的な整備が多くの自治体で達成されました。今後は実際の授業における利活用に焦点が移るものと見込まれています。また高校・大学においても同様の整備が進む一方で、オンライン授業の浸透やBYOD活用の傾向がみられるなど、ICT環境に変化も見られつつあります。

大型イベント等を企画する進路市場においては、コロナ禍前の水準には達しないものの、感染予防対策を徹底しつつ、進路相談会が開催できる状況へと戻りつつあります。しかしながら、新変異株であるオミクロン株が国内においても広がりを見せるなか、先行きについては依然として警戒が必要な状況が続いております。

このような市場動向のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,130,319千円（前年同期比12.3%増）、営業利益は447,648千円（前年同期比71.6%増）、経常利益は503,727千円（前年同期比99.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は372,958千円（前年同期比128.3%増）となりました。

なお当社の業績の特性として、第2四半期及び第4四半期において、売上高及び営業利益が偏重する傾向がありましたが、近時では、顧客との契約期間にわたって収益を計上する取引が増加してきており、季節的変動は縮小していく傾向にあります。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

①学習部門

学習部門においては、GIGAスクール構想の「児童生徒1人1台端末の整備」事業を受けて前期に受注が増加した小中市場向けサービスの契約負債が利用期間に応じて振り替わったことから、前年同期比で売上が大きく増加しました。内訳としては運用管理ツール「InterCLASS Console Support」やフィルタリングツール「InterCLASS Filtering Service」などが占めます。また、高大市場ではeラーニングシステム「GLEXA」が前期に引き続き受注を伸ばすなどした結果、売上高は1,249,180千円（前年同期比78.8%増）、セグメント利益は433,149千円（前年同期比208.5%増）となりました。

②進路部門

進路部門においては、緊急事態宣言下も、感染予防対策を行いつつ、前年同期を上回る進路相談会が開催され、当第3四半期連結累計期間における進路相談会の売上は前年同期比で増収となりました。一方、進学情報誌による情報提供からWeb媒体『高校生のキモチ。』（2020年12月リリース）による展開への移行が一部に進んだことに伴い、当第3四半期連結累計期間における進学情報誌の売上は前年同期比で減収となりました。加えて、株式会社昭栄広報の業績は、前第3四半期連結累計期間は1月1日から9月30日までの9か月間を計上しておりましたが、連結財務諸表のより適切な開示を図るため、当第3四半期連結累計期間は1月1日から12月31日までの12か月間を計上しており、前年同期比増収の要因となっております。これらの結果、売上高は1,118,319千円（前年同期比67.7%増）、セグメント利益は86,661千円（前年同期はセグメント損失92,615千円）となりました。

③情報基盤部門

情報基盤部門においては、大学の大型案件に伴う統合ID管理システムの売上計上があったものの、GIGAスクール構想「校内通信ネットワークの整備」事業の影響を受けた無線LAN最適化ソリューション「Tbridge」の前期特需の反動により、売上高は762,819千円（前年同期比46.4%減）、セグメント利益は263,332千円（前年同期比46.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の額は、6,525,029千円（前連結会計年度末は5,585,679千円）となり、939,349千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加942,634千円、投資その他の資産の増加289,109千円その他、売掛金の減少395,833千円によるものです。なお、投資その他の資産の増加の主な要因は、投資有価証券の増加212,046千円及び関連会社株式の増加70,303千円であります。

負債の額は、4,410,029千円（前連結会計年度末は3,582,674千円）となり、827,355千円増加しました。これは主に契約負債（前年度においては前受金）の増加1,275,214千円その他、買掛金の減少157,738千円によるものです。なお、契約負債の増加は、主に学習部門における運用管理ツール「InterCLASS Console Support」やフィルタリングツール「InterCLASS Filtering Service」などのChromebook対応授業・学習支援システムによるものです。

純資産の額は、2,114,999千円（前連結会計年度末は2,003,005千円）となり、111,994千円増加しました。これは主に利益剰余金が353,451千円増加した一方、自己株式が253,645千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期業績見通しにつきましては、本日（2022年2月14日）開示いたしました「通期業績予想の上方修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,370,140	4,312,775
売掛金	863,813	467,979
有価証券	100,000	100,000
商品	106,217	101,923
仕掛品	2,356	2,673
貯蔵品	5,138	8,106
その他	260,384	426,667
貸倒引当金	△8,356	△5,507
流動資産合計	4,699,693	5,414,619
固定資産		
有形固定資産	44,338	49,141
無形固定資産		
ソフトウェア	158,637	124,480
ソフトウェア仮勘定	18,964	1,738
のれん	110,312	96,705
その他	17,000	12,500
無形固定資産合計	304,913	235,424
投資その他の資産	536,734	825,844
固定資産合計	885,986	1,110,410
資産合計	5,585,679	6,525,029

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	233,354	75,615
未払法人税等	177,835	26,060
前受金	2,454,459	-
契約負債	-	3,729,673
賞与引当金	91,661	67,375
役員賞与引当金	8,252	9,454
その他	264,757	219,975
流動負債合計	3,230,320	4,128,155
固定負債		
長期未払金	349,293	281,873
その他	3,060	-
固定負債合計	352,353	281,873
負債合計	3,582,674	4,410,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	336,359	336,359
資本剰余金	125,673	125,673
利益剰余金	1,591,131	1,944,583
自己株式	△67,964	△321,610
株主資本合計	1,985,199	2,085,006
新株予約権	17,805	29,993
純資産合計	2,003,005	2,114,999
負債純資産合計	5,585,679	6,525,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	2,787,283	3,130,319
売上原価	1,220,467	1,040,023
売上総利益	1,566,816	2,090,296
販売費及び一般管理費	1,305,984	1,642,648
営業利益	260,831	447,648
営業外収益		
受取利息	188	1,953
受取配当金	1,025	1,234
投資有価証券売却益	266	-
持分法による投資利益	-	41,386
出資金運用益	-	10,324
助成金収入	12,493	143
貸倒引当金戻入額	4,526	3,504
その他	606	1,204
営業外収益合計	19,105	59,749
営業外費用		
支払利息	1,072	934
投資有価証券売却損	738	-
持分法による投資損失	26,102	-
自己株式取得費用	-	2,535
その他	57	200
営業外費用合計	27,970	3,670
経常利益	251,966	503,727
特別利益		
保険解約返戻金	6,875	2,268
投資有価証券売却益	-	101
特別利益合計	6,875	2,369
税金等調整前四半期純利益	258,842	506,097
法人税等	95,471	133,139
四半期純利益	163,370	372,958
親会社株主に帰属する四半期純利益	163,370	372,958

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
四半期純利益	163,370	372,958
四半期包括利益	163,370	372,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,370	372,958
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力 発生日	配当の 原資
2020年 6月8日 取締役会	普通株式	15,471	2(注)	2020年 3月31日	2020年 6月29日	繰越利益 剰余金

(注) 当社は2020年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、基準日が2020年3月31日の1株当たり配当額については、株式分割後の金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の当該1株当たり配当額は4円となります。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力 発生日	配当の 原資
2021年 5月28日 取締役会	普通株式	19,506	2.5	2021年 3月31日	2021年 6月30日	繰越利益 剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2021年6月2日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間に当社普通株式200,000株を253,586千円で取得いたしました。これを主な要因として、当第3四半期連結累計期間において自己株式が253,645千円増加し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は321,610千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

当第3四半期連結累計期間
(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(1) 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

収益認識会計基準等の適用による、当第3四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受金」は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示することとしました。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(2) 時価の算定に関する会計基準等

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	学習部門	進路部門	情報基盤部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	698,463	666,837	1,421,983	2,787,283	—	2,787,283
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	698,463	666,837	1,421,983	2,787,283	—	2,787,283
セグメント利益又は損失 (△)	140,418	△92,615	495,112	542,915	△282,083	260,831

(注) セグメント利益の調整額△282,083千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	542,915
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△282,083
四半期連結損益計算書の営業利益	260,831

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	学習部門	進路部門	情報基盤部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,249,180	1,118,319	762,819	3,130,319	—	3,130,319
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,249,180	1,118,319	762,819	3,130,319	—	3,130,319
セグメント利益又は損失 (△)	433,149	86,661	263,332	783,143	△335,495	447,648

(注) セグメント利益の調整額△335,495千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	783,143
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△335,495
四半期連結損益計算書の営業利益	447,648

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)に記載のとおり、当社の連結子会社である株式会社昭栄広報の決算日は12月31日であり、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより適切な開示を図るため、第2四半期連結会計期間より四半期連結決算日現在で仮決算を行い連結する方法に変更しております。これにより、当第3四半期連結累計期間については、株式会社昭栄広報は2021年1月1日から2021年12月31日までの12か月間を連結対象期間とする変則的な決算となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の学習部門における売上高は1,622千円増加、セグメント利益は1,514千円増加し、進路部門における売上高は419,822千円増加、セグメント利益は115,338千円増加しております。